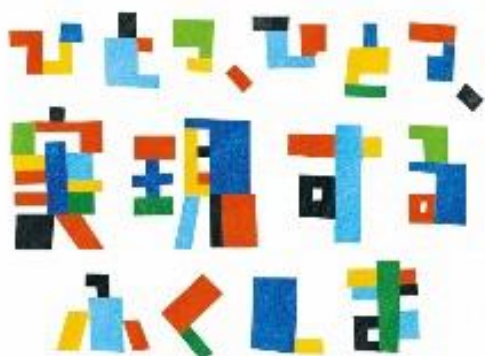


へき地の医療機関への看護師等
の派遣に係る事前研修
研修資料（3）

「県中医療圏」
（第8次福島県医療計画 抜粋）



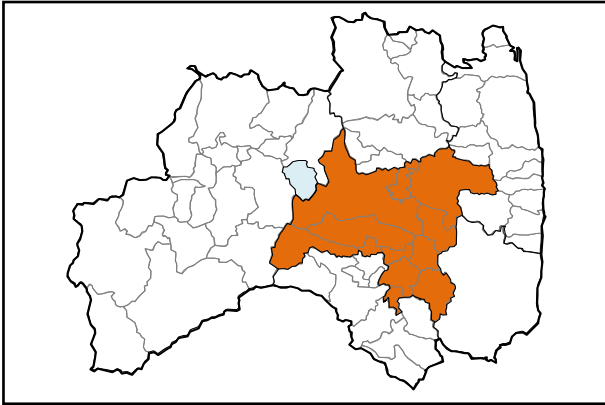
令和6年6月

福島県

第2節 県中医療圏

圏域の現状

【医療圏の位置】



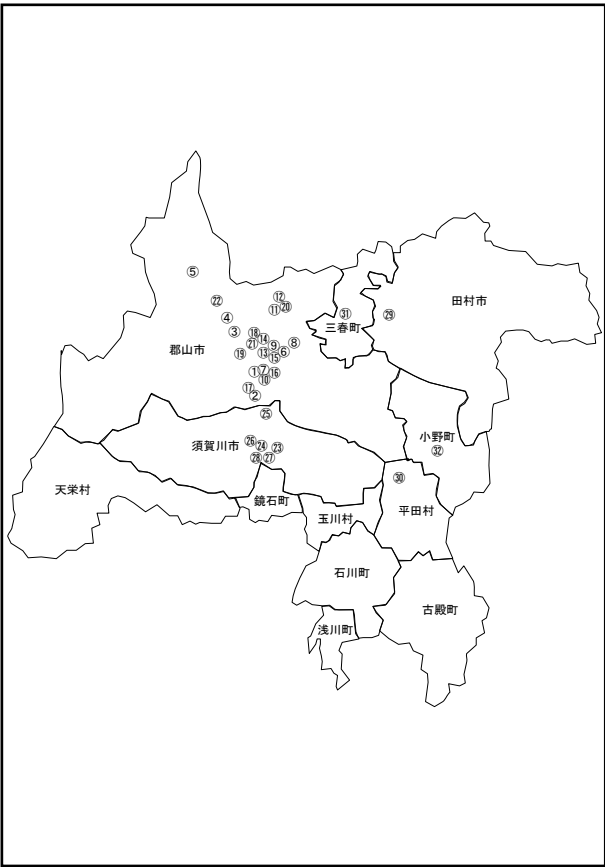
【地勢と医療分野の現況】

当圏域は、県の中央に位置し、東側には阿武隈高地、西側には奥羽山脈が連なり、中央の平坦部には阿武隈川が北流するなど、変化に富んだ自然によって形成されております。

また、福島空港をはじめ、東北新幹線、東北自動車道及び磐越自動車道に加え、あぶくま高原道路も整備され、本県交通の要衝となっており、本県経済の中心的役割を担っています。

圏域内の病院は下記のとおり 32 施設あり、一般病院 28 施設、精神科病院 4 施設となっています。一般病院のうち、地域医療支援病院が3施設、がん診療連携拠点病院が2施設となっています。

【圏域内の病院】



令和5(2023)年9月30日現在

市町村	番号	施設名	区分
郡山市	①	針生ヶ丘病院	
	②	社会医療法人 あさかホスピタル	
	③	郡山市医療介護病院	
	④	福島県総合療育センター	
	⑤	一般財団法人 太田総合病院附属太田熱海病院	●
	⑥	公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	●□
	⑦	公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院	
	⑧	公益財団法人 星総合病院	●□
	⑨	医療法人 郡山病院	
	⑩	医療法人 慈繁会付属 土屋病院	

第2節 県中医療圏

市町村	番号	施設名	区分	市町村	番号	○救命救急センター ●救急告示病院	
						○地域医療支援病院 △へき地医療拠点病院 施設名	■がん診療連携拠点病院 ▲災害拠点病院 区分
郡山市	⑪	奥羽大学歯学部附属病院		郡山市	⑳	公益財団法人 星総合病院 星ヶ丘病院	
	⑫	医療法人社団新生会 南東北第二病院		須賀川市	㉑	独立行政法人 国立病院機構 福島病院	
	⑬	日東病院			㉒	公立岩瀬病院	● ▲
	⑭	一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院	○●■▲		㉓	寿泉堂松南病院	
	⑮	医療法人明信会 今泉眼科病院			㉔	医療法人三愛会 池田記念病院	
	⑯	佐藤胃腸科外科病院			㉕	南東北春日リハビリテーション病院	
	⑰	一般財団法人 慈山会医学研究所 附属坪井病院			㉖	医療法人平心会 須賀川病院	●
	⑱	医療法人創流会 朝日病院			㉗	たむら市民病院	
	⑲	桑野協立病院	●	田村市	㉘	ひらた中央病院	●
	⑳	一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院	●□■▲	平田村	㉙	三春町立三春病院	
	㉑	医療法人明信会 今泉西病院	●	三春町	㉚	小野町地方総合病院	

【圏域の基礎データ】

構成市町村	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町	医療提供施設 (人口10万対)	病院	32	(6.3)	[6.9]	
管轄保健所	福島県県中保健所、郡山市保健所		施設数	診療所	384	(75.2)	[77.6]
面積	2,406.25km ²		開設許可病床数	歯科診療所	249	(48.8)	[46.6]
人口(圏域計)	505,512人 [1,766,912人]			薬局	221	(42.9)	[49.3]
0~14歳	56,949人 (11.5%) [189,515人 (10.9%)]	医療従事者 (人口10万対)	開設許可病床数	一般病床	4,791床 (938.3)	[884.5]	
15~64歳	285,655人 (57.7%) [965,743人 (55.7%)]				療養病床	765床 (149.8)	[168.7]
65歳~	152,798人 (30.8%) [577,720人 (33.3%)]				精神病床	1,712床 (335.3)	[342.6]
(再掲)65~74歳	75,883人 (15.3%) [278,451人 (16.1%)]				感染症病床	6床 (1.2)	[1.8]
(再掲)75歳~	76,915人 (15.5%) [299,269人 (17.3%)]				結核病床	0床 (0.0)	[3.7]
人口密度	210.1人/km ² [128.2人/km ²]			医師	1,098人 (211.3)	[215.9]	
世帯数	211,761世帯 [749,918世帯]			歯科医師	545人 (104.9)	[76.6]	
1世帯あたり人口	2.39人 [2.36人]			薬剤師	1,109人 (213.4)	[206.9]	
人口動態	出生率(人口千対)	(5.6)	[5.4]	看護師	5,062人 (974.3)	[963.0]	
	死亡率(人口千対)	(13.3)	[15.3]	准看護師	1,361人 (261.9)	[340.9]	
	乳児死亡率(出生千対)	(3.5)	[2.5]	入院自足率	一般病床	93.2%	[100.0%]
	死産率(出産千対)	(20.4)	[20.0]		療養病床	96.7%	[100.0%]
		受療動向	病床利用率	一般病床	68.6%	[69.6%]	
				療養病床	88.2%	[81.9%]	
			平均在院日数	一般病床	17.1日	[17.2日]	
				療養病床	122.1日	[135.8日]	

※[]内は福島県

※資料は以下のとおり

- 面積…「全国都道府県市区町村別面積調(令和5年4月1日)(国土交通省国土地理院)」
- 人口、世帯数及び1世帯あたり人口…「福島県現住人口調査結果(令和5年10月1日現在、圏域計は年齢不詳含む)」
- 人口動態…「令和4年福島県人口動態統計(確定数)の概況」、「福島県現住人口調査結果(令和4年10月1日現在)」
- 医療提供施設…「令和4年医療施設(動態)調査(厚生労働省)」、「令和4年版福島県業務行政概要(令和3年度)」、「福島県現住人口調査結果(令和4年10月1日現在、令和3年10月1日現在)」
- 医療従事者…「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)」、「福島県看護職員就業届出状況(令和2年12月31日現在)」、「福島県現住人口調査結果(令和2年10月1日現在)」
- 受療動向…「平成29年患者調査(厚生労働省)」、「令和元年病院報告(年間)(厚生労働省)」

圏域における重点的な取組

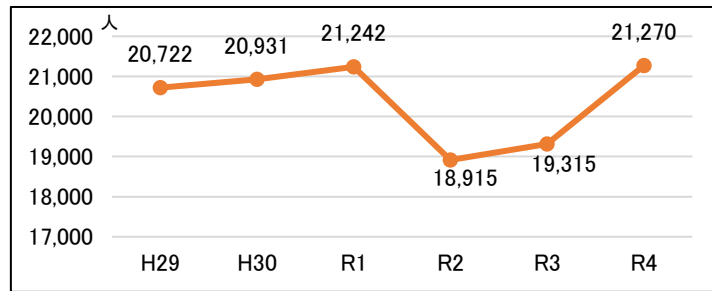
1 救急医療の確保

県中圏域は3市、9町村で構成されています。三次救急医療機関は圏域内に1箇所設置され、二次救急医療機関は病院群輪番制及び救急告示病院、救急協力病院で対応しており、郡山市内に救急対応医療機関が集中しています。

(1)現状と課題

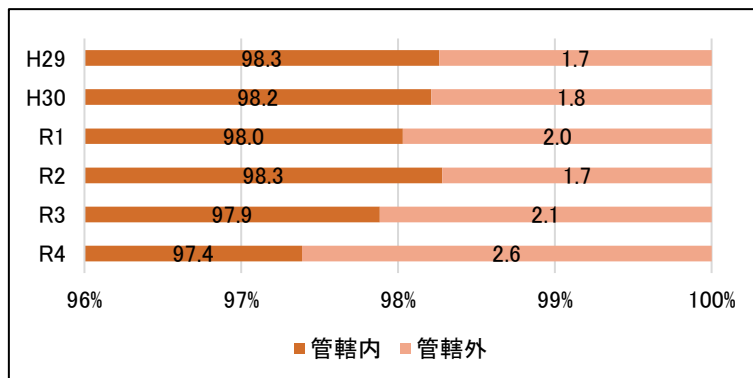
- 救急搬送人員は令和2(2020)年度、令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大きく減少しましたが、令和4(2022)年度はコロナ渦前と比べて増加しました。特に郡山市の二次救急医療機関は市外からの救急患者も受け入れていることから、医療機関の負担が増えています。さらには、救急対応後の受け入れ先がないことにより受入出来ない事例も見られます。
- 県中圏域内1か所の救命救急センターで県南圏域を含む近隣の重篤な患者を対応しています。
- 救急搬送された患者のうち、軽症患者の占める割合が高いことから、真に救急医療が必要とされる重症患者等への対応に支障を来す可能性があります。

図表 12-2-1 県中医療圏の年別救急搬送人員



資料: 消防年報(郡山地方広域消防組合)
消防年報(須賀川地方広域消防組合)

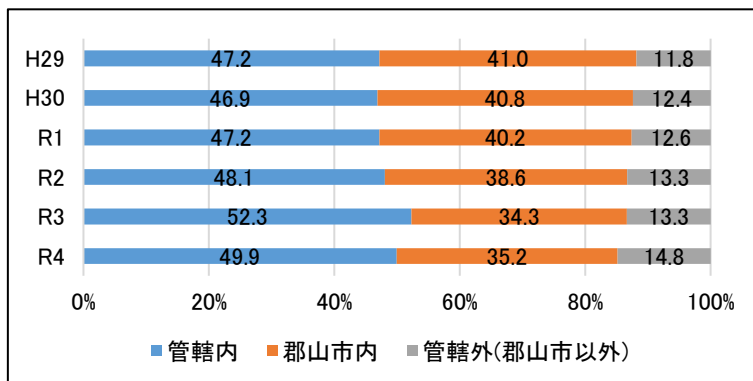
図表 12-2-2 患者搬送先(医療機関)の割合(郡山広域消防)



※ 管内: 郡山市、田村市、田村郡内の医療機関
資料: 消防年報(郡山地方広域消防組合)

第2節 県中医療圏

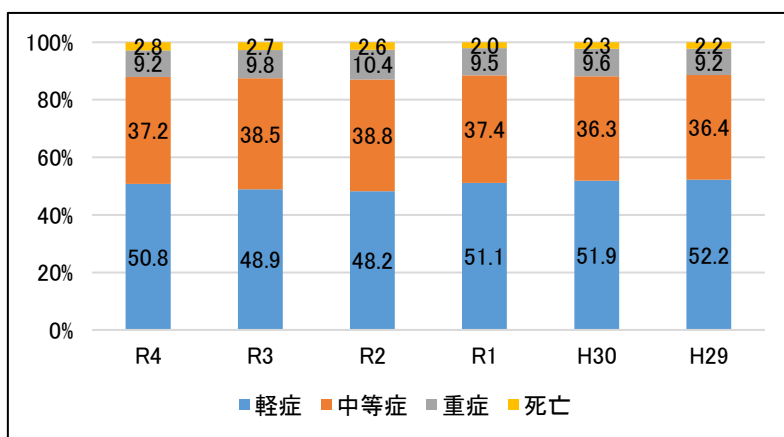
図表 12-2-3 患者搬送先(医療機関)の割合(須賀川広域消防)



※ 管内:須賀川市、岩瀬郡、石川郡内の医療機関

資料:消防年報(須賀川地方広域消防組合)

図表 12-2-4 搬送患者の状況(軽症、中等症、重症、死亡)の割合



資料:消防年報(郡山地方広域消防組合)

消防年報(須賀川地方広域消防組合)

(2)目標

- 医療機関間の連携を図り、スムーズな救急患者の受け入れや転院を目指します。
- 初期救急から二次救急及び三次救急まで、患者が必要とする適切な救急医療が受けられることを目指します。
- 福島県救急電話相談（#7119）及び福島県子ども救急電話相談（#8000）の対応件数の増加をめざします。

(3)具体的な取組

- 初期救急及び二次救急が地域で受け入れられるよう施設設備整備及び医師確保等への支援を行います。
- 救急患者が適切かつ速やかに適切な救急医療が受け入れられるよう医療情報、消防情報が共有できるシステムを構築するよう検討します。
- 県中圏域として県南圏域と連携し、県中・県南圏域における三次救急医療の充実に向けた協議等を県中地域救急医療対策協議会や県中地域医療構想調整会議等で行います。
- 市町村等関係機関と連携し、住民に対して救急車の適正利用、福島県救急電話相談（#7119）及び福島県子ども救急電話相談（#8000）を周知し、普及啓発を継続的に実施します。

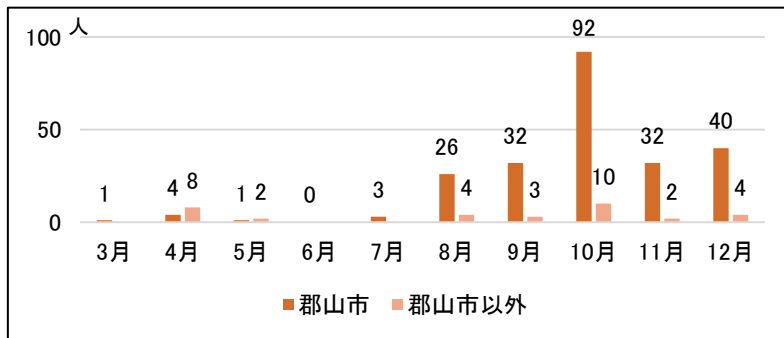
2 感染症への対応

県中圏内の感染症指定医療機関は、須賀川市内1か所、病床数で6床配置されています。

(1)現状と課題

- 感染症指定医療機関が須賀川市内1か所、病床数で6床配置されていますが、県中圏域で最も人口が多い郡山市内には感染症指定医療機関がないのが現状です。
- 新型コロナウイルス感染症発生初期には、人口の多い郡山市内の患者発生数が多かったため、速やかな検査や患者の収容など、患者対応の迅速性に課題がありました。

図表 12-2-5 新型コロナウイルス感染症発生初期(令和2年度)の県中医療圏患者数

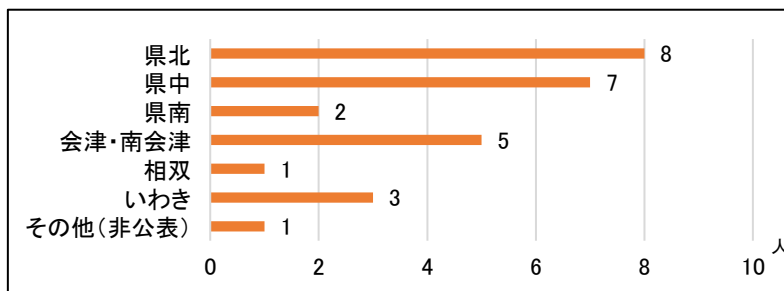


資料:福島県保健福祉部調べ

図表 12-2-6 第二種感染症指定医療機関数

感染症指定医療機関	箇所数	医療圏(病床数)
第一種感染症指定医療機関	1か所	県北(2)
第二種感染症指定医療機関	6か所	県北(6)、県中(6)、県南(4)、会津・南会津(8)、相双(4)、いわき(6)

図表 12-2-7 感染管理認定看護師等の数



資料:公益財団法人日本看護協会 HP より(令和5年10月20日現在)

(2)目標

- 新興感染症発生時に速やかな検査や患者の収容ができる体制の構築を目指します。
- 感染管理認定看護師数の増加を目指します。(令和5(2023)年10月20日現在:7人)
- 圏域内の医療機関のネットワークを構築し、情報の共有ができることを目指します。

(3)具体的な取組

- 郡山市内における感染症病床の確保など、県中圏内の感染症に係る医療提供体制の充実を図ります。
- 感染管理認定看護師等の育成や能力向上を支援します。
- 新興感染症発生時の医療機関及び関係団体との情報共有が円滑に進む体制を構築します。

3 在宅医療提供体制の構築

急速に高齢化が進む中、在宅医療は慢性期及び回復期患者の受け皿として、さらに看取りを含む医療提供体制の基盤の一つとして整備を推進する必要がある、今後ますます需要が見込まれます。

(1)現状と課題

- 急性期が終わった医療依存度の低い患者が、在宅、高齢者向けの住まいや介護保険施設等へ切り替えが出来るよう在宅医療体制を構築する必要があります。
- 在宅患者で入院が必要になった際の受入れについて医療機関の病床の空きや医療従事者不足により入院の受入が困難な課題があります。

図表 12-2-8 在宅療養支援病院数

(箇所)

施設分類	郡山市	須賀川市	田村市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町
在宅支援病院・診療所(医科、歯科)	34	10	4	1		2		1			5	2

資料:厚生労働省 HP より(令和3年3月31日現在)

図表 12-2-9 市町村別介護施設数

(定員(人))

施設分類	郡山市	須賀川市	田村市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町
介護老人福祉施設	1,164	470	390	140	70	80	56	50	80	50	50	54
介護老人保健施設	769	240	200			129		100		29	100	
介護療養型医療施設	10							20				
地域密着型介護老人福祉施設	171											
介護医療院	150										29	58
特別施設入居者介護施設	646											
認知症対応型共同生活介護施設	666	144	143	36	18	18		18		18	72	53
地域密着型特定施設入居者生活介護施設	58											

資料:厚生労働省「地域包括ケア「見える化」システムより(令和4年時点)

(2)目標

- 住み慣れた地域で看取りまで含めた必要な医療を受けられることを目指します。
- 在宅等患者の病状急変時に適切な医療を受けられることを目指します。
(在宅療養支援病院・診療所 59カ所(令和3(2021)年3月31日現在))

(3)具体的な取組

- 退院可能な患者が在宅等へ移行出来ない課題を抽出し、不足している医療資源がある場合はそれを補う対策を行っていきます。
- 医療機関、訪問看護ステーション、薬局、介護施設間の連携を促進し、在宅医療体制の構築を推進します。